

「ダイワ・コモディティインデックス・ファンド(ジム・ロジャーズ世界探検記)」 ジム・ロジャーズ[®]氏インタビュー

大和証券投資信託委託株式会社

11月3日、シンガポール在住のジム・ロジャーズ[®]氏にインタビューを行いました。その収録内容についてファンドレターとしてまとめましたので、ご参考までに紹介いたします。

下記は同氏の見解であって、ファンドの将来の運用成果を約束するものではありません。

コモディティ市況について

1:世界的な景気減速等により、コモディティ価格は大きく調整しており、WTI期近物も70米ドルを割り込む水準まで下落しています。また、ゴールドマン・サックスによるWTI原油相場見通しも、08年10 - 12月期は、120米ドルから85米ドル/バレルに、09年は110米ドルから75米ドル/バレルに下方修正されました。世界経済の混乱は長引くとの予想もあり、原油を初めとするコモディティ需要の減少を懸念する声があります。前回(2008年8月)のインタビューにおいて、ロジャーズ氏は、75米ドル/バレルの水準の下落があったとしても、その後また上昇に転じるとのお考えでしたが、コモディティに対する需要懸念が高まる中、今後の価格動向についてどのような見解をお持ちでしょうか？

私のコモディティに対する強気な見通しは全く変わっていない。皆さんも覚えているだろうが、原油の強気相場は1999年に始まり、以来40%~50%の値下がりを経験している。それらの値下がり、強気相場の終焉ではなく、単なる価格の変動であり、その度に価格は上昇に転じた。今回の50%の下落は、4回目だ。今は強制的にポジションを整理させられている時期で、どこかでコモディティ価格の下落は止まる。ファンダメンタルズに関係なく、全てを売却することを強いられたのは、過去150年の間に8、9回しかなかった。コモディティのファンダメンタルズは、依然として非常に強固だ。実際、新たな原油の供給は行われていない。また、借り入れができないため、農家は肥料を施すことができないし、誰も新しい鉱山の開発ができない。このようなことを考え合わせると、今後コモディティの価格は上昇する。ご存知かもしれないが、国際エネルギー機関(IEA: International Energy Authority)は、原油の供給が年間6~9%の割合で減少しているという調査結果を発表している。単純計算でも数年後には、我々が非常に深刻な問題に直面することがわかる。このようにコモディティのファンダメンタルズは、今後更に改善が見込まれる。従って、現在の状況下で投資するとすれば、それはコモディティだけだ。

2:昨今のコモディティ市場への関心の高まりとともに、高リターンを獲得しているCTAが注目を集めています。ロジャーズ氏はCTAへの投資についてどのような意見をお持ちでしょうか？

ロジャーズ国際コモディティ指数TM(RICI[®])は、1998年8月から2008年9月までに317%のリターンを挙げている。一方、Barclay CTA指数は、81.80%のリターンだ。RICIは、CTAの平均収益の約4倍もの収益を獲得した。他の手法よりインデックス運用が優れていることを様々な調査結果が示している。コモディティも例外ではない。もし、非常に優れたCTAを見つけたら、お金を預けても良いだろう。しかし、今後どのCTAが上手く運用するかは誰も分からない。

1/4

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212 (営業日9:00~17:00 半休日9:00~12:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

世界経済、日本経済について

3: 米国、欧州による、金融機関への公的資金注入等の対応策についての評価をお聞かせ下さい。また、昨今の金融危機の見通しと今後とるべき対応策についてもご教示下さい。

私は、日本が1990年代に犯したのと同じ誤りを米国やヨーロッパの政府もまた犯していると思う。日本は破綻を受け入れることを拒絶し、体力のなくなった企業を残したため、簡単な問題を解決するのに長期間を要した。破綻する企業は破綻させるべきだったのだ。今回の米国もヨーロッパも同様だ。

強者が、競争力のない弱者から資産を譲り受け、最初からやり直すことが今回のような状況下では本来行われるべきだ。ところが実際には、競争力のない弱者が強者から資金の援助を受け、そして強者と争っている。これは経済的にもモラル的にもよろしくない。政治家がモラルを懸念しないことは知っているが、不適切な経済政策であることは間違いない。

次に政府が行うべきことは、救済を中止し、破綻している企業は倒産させることだ。すでに政府は、破綻企業に救済を施し、混乱した状況を作り出してしまった。これは間違いであり、今後悪化するだろう。直ぐに止めるべきだ。

4: 中国の水源問題や、メラミン混入等による食の安全性などが問題視されています。ロジャーズ氏は中国の未来は約束されているとの見解をお持ちのようですが、このようなインフラ上の問題が、中国の中長期の成長へ与える影響についてどのようにお考えですか？

確かに、中国には問題がある。誰にでも問題はあるものだ。米国は、19世紀に15回の不況を経験した。南北戦争があり、路上での惨劇も行われた。公民権は認められていなかった。米国は、このような様々な悲惨な問題や深刻な問題を克服し、繁栄への道を進んだ。中国もまた多くの問題を抱えている。汚染問題はその一つだ。水の問題は中国では深刻だ。しかし、これらの問題は全て一時的なものだ。中国も米国と同じように問題を克服し、発展の道を歩むだろう。

5: 今回の世界的な株安により、日本株の過剰な割安感が目立ちます。ロジャーズ氏は現在、日本株への投資についてどのようにお考えでしょうか？また、日本経済の見通しにおいて、危惧されている事柄はありますか？

米国よりも日本に投資したいと思う。私は、今がコモディティ投資の絶好の機会であるので、コモディティを買っているところだ。歴史を通して、このような状況にあるとき最も優れた投資先は、ファンダメンタルズが損なわれていないものだ。そして、今日ファンダメンタルズが悪化していないのは、コモディティだけだ。前にも言ったように、新たな追加供給がないため、コモディティは強気相場にある。そういう訳で、私は、現在、株式よりもコモディティを買っている。もし、株式に投資するのであれば米国よりも日本を選ぶだろう。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212 (営業日9:00~17:00 半休日9:00~12:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

通貨について

6: イランやベネズエラが原油取引時に米ドルでの決済をやめるなど、基軸通貨としての米ドルの地位が低下しつつあります。米ドルもかつてのポンドのように、基軸通貨として成り立たなくなるのでしょうか。そうであれば、今後の基軸通貨として可能性が高いものはどれでしょうか？

米ドルが、その基軸通貨としての地位を失いつつあるのは、疑いのないことだ。英ポンドの衰退と同じ道を辿るだろう。現在は、米ドルの売りポジションの解消のため、一時的に買われているが、10年後、15年後あるいは20年後には、基軸通貨の地位を失うだろう。しかし、どの通貨が米ドルにとって代わるかは分からない。もし、今日米ドルに代わる通貨を求めるのであれば、それはユーロだろう。しかし、ユーロが15年後に存在しているかどうか分からない。5年後、10年後の基軸通貨が何かは分からないが、15年後には人民元かもしれない。しかし、人民元は封鎖貨幣なので、今それを論じるのは現実的ではない。

7: Bloombergのインタビューにて、日本円、スイスフランに対して強気であるとのコメントを拝見しましたが、その魅力をお教え下さい。

キャリートレードは、必ず巻き戻されるので、私はスイスフランと日本円に強気だ。今、誰もがポジションを解消することを強いられている。ポジションの解消が続く間は、日本円の上昇は続く。スイスフランは、日本円程は上昇しない。何故ならスイスは他国と同じ誤りをおかしつつあるからだ。政府が金融機関を支援し始めているのだ。これは、私の人生でも初めてのことで、スイスフランは売らずに依然として保有しているものの、心配している。

今後、円の急上昇がどれくらいの期間続くのかは分からない。日本円は、多分、過去の最高値まで届くだろう。非常に多くの人が円キャリートレードを行っているので、80円/米ドルまで行くだろう。キャリートレードの巻き返しの後に何が起きるか、今の時点では分からない。しかし、キャリートレードが全て巻き戻されるには長い時間がかかるので、それを懸念する必要はない。

以上

「ダイワ・コモディティインデックス・ファンド(ジム・ロジャーズ世界探検記)」およびその関連ファンドであるケイマン諸島投資法人Global Commodity Markets Fund Ltd.(そのサブファンドである「RICI Portfolio」を含みます)(以下、総称して「ファンド」といいます)はJames Beeland Rogers, Jim Rogers®またはBeeland Interests, Inc.(以下、総称して「Beeland」といいます)により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beelandはファンド購入者、全ての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。BeelandはRogers International Commodity Index®の決定、構成、算出において大和証券投資信託委託株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beelandはファンドが発行される時期、価格若しくは数量の決定またはファンドが換金される若しくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与していません。Beelandはファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers®」、「Rogers International Commodity Index®」、「RICI Portfolio」、「RICI®」および「ダイワ・コモディティインデックス・ファンド(ジム・ロジャーズ世界探検記)」は、James Beeland Rogers, Jim Rogers®または Beeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212 (営業日9:00~17:00 半休日9:00~12:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・コモディティインデックス・ファンド (ジム・ロジャーズ世界探検記)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの特色

投資するファンドを通じて、世界のコモディティ(商品)価格の中長期的な上昇を享受することを目標に、主として公社債等に投資するとともに、商品先物取引(商品先渡取引を含みます。以下同じ)による運用を行います。商品先物取引による運用にあたっては、RICI[®](ロジャーズ国際コモディティ指数)の構成目とその構成比率にできるだけ近似した商品先物ポートフォリオを構築し、RICI[®]の動き(円換算)を反映した投資成果をめざして運用を行ないます。

ファンドにかかるリスクについて

投資信託証券への投資を通じて、主として商品先物取引、内外の公社債など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、商品先物取引、公社債などの価格下落や、発行企業・発行体の経営不安、倒産等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。商品先物取引による運用に伴うリスク 公社債の価格変動(価格変動リスク、信用リスクなど) 外国証券への投資に伴うリスク(為替リスク、カントリー・リスクなど) その他(解約申込みに伴うリスク、短期金融商品の信用リスクなど)

これらのリスクを含むより詳細な内容は、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」に記載しておりますのでご確認ください。

ファンドにかかる手数料等について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接ご負担いただく費用

申込手数料 当ファンドの申込手数料の料率の上限は、2.1%(税抜2%)です。
「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、お申込手数料はかかりません。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

換金(解約)手数料 換金(解約)手数料はありません。

信託財産留保額 信託財産留保額はありません。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

実質的な信託報酬(概算) 信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.947%(税込)程度の率を乗じて得た額とし、ファンドよりご負担いただけます。

その他の費用 監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただけます。(その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客さまが実質的に負担する信託報酬を算出しております。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」に記載しておりますのでご確認ください。

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

4/4

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212 (営業日9:00~17:00 半休日9:00~12:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>